

STAGE+を楽しむ(248)(HP 掲載)
—ゼガンのワーグナー 楽劇《ワルキューレ》—

1. 始めに

前報(247)に引き続き、STAGE+のゼガンのワーグナー 楽劇《ワルキューレ》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のゼガンのワーグナー 楽劇《ワルキューレ》の演奏を選びました。

ネゼ・ゼガンが指揮するワーグナー 楽劇《ワルキューレ》(演奏会形式)
オペラ

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団

収録日: 2024年4月26日

ヤニック・ネゼ=ゼガンはニューヨークのメトロポリタン・オペラの音楽監督を務め、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とも共演をするなど、いま世界で最も注目を集める指揮者の一人です。本映像では首席指揮者も務めたロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団との共演でワーグナーの《ワルキューレ》を指揮。ブリュンヒルデを演じるタマラ・ウィルソンをはじめ優れたワーグナー歌いも揃い、重厚かつ色彩豊かなプロダクションとなりました。物語の世界を鮮やかに描き出すヤニックの手腕に改めて感動していただけることでしょう。

ソリスト:

スタニスラス・ド・バルベラク (テノール)、エルザ・ファン・デン・ヒーヴァー (ソプラノ)、ソロマン・ハワード (バス)、ブライアン・マリガン (バリトン)、タマラ・ウィルソン (ソプラノ)、カレン・カーギル (メゾソプラノ)、ユスティナ・ブルイ (ソプラノ)、ジェシカ・ファゼルト (ソプラノ)、ブリタニー・オリヴィア・ローガン (ソプラノ)、マリア・バラクーワ (メゾソプラノ)、イリス・ファン・ウェイネン (メゾソプラノ)、ロニータ・ミラー (メゾソプラノ)、カトリオナ・モリソン (メゾソプラノ)、アンナ・キスジュディット (メゾソプラノ)

演奏:

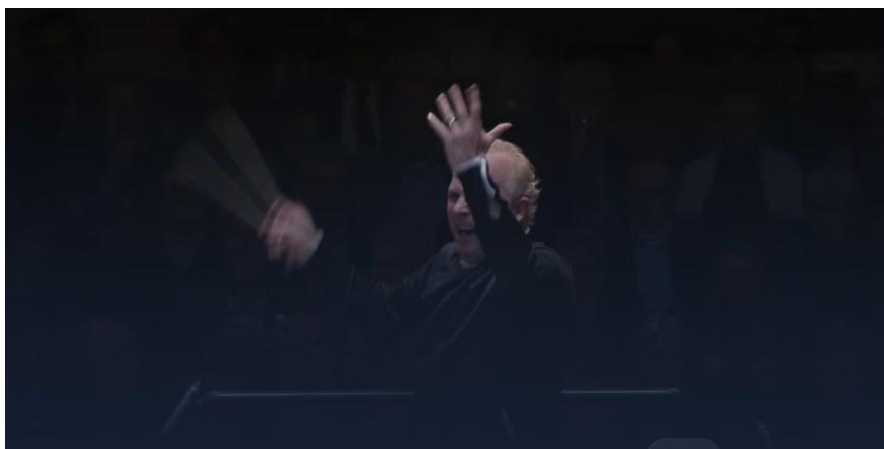
ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:

ヤニック・ネゼ=ゼガン

曲目:

リヒャルト・ワーグナー 楽劇《ワルキューレ》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

演奏会形式ですので、ソリスト達はオーケストラの前面に位置しています。

第一幕の冒頭からセガンの切れの良い指揮の下、低弦の斉奏から始まります。

最新の収録であり、低音の量感、ソリストの歌唱の伸びなど、明瞭に聴き取れ、ソリストの歌唱はホール内の残響までしっかり捉えられています。

第二幕はティンパニの連打から始まります。

第三幕は独立して演奏されることもあるワルキューレの騎行の場面で、ソプラノ、メゾソプラノ達のダイナミックな歌唱が聴かせどころです。

そのようなソリスト達のダイナミックな歌唱が続いた後、終章は穏やかな進行で終焉を迎えます。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、セガン指揮ロッテルダム・フィルハーモニーによるワーグナーの《ワルキューレ》のスケールの大きな演奏とソリスト達のダイナミックな歌唱が再現されていました。

以上